

平成30年8月7日

資料提供先

・岡山県政記者クラブ

## 高梁川水系小田川に危機管理型水位計を5箇所 設置しました。

岡山河川事務所では、大規模氾濫時の減災対策協議会の取組方針に基づく水害時の減災対策を進めているところです。また、平成30年7月豪雨にて小田川が被災したことを踏まえ、その対策として、小田川にて危機管理型水位計の設置を5箇所行い、平成30年8月6日より運用を開始しましたのでお知らせします。

引き続き、その他の直轄河川においても危機管理型水位計の設置を順次進め、避難勧告等の発令や住民の避難に役立つ水位情報を提供します。

### 1. 設置箇所（詳細は別添）

- ・小田川右岸 0k600 付近（岡山県倉敷市真備町川辺地先）
- ・小田川左岸 3k400 付近（岡山県倉敷市真備町箭田地先）
- ・小田川右岸 4k200 付近（岡山県倉敷市真備町服部地先）
- ・小田川左岸 6k400 付近（岡山県倉敷市真備町尾崎地先）
- ・小田川左岸 7k100 付近（岡山県倉敷市真備町妹地先）

### 2. 危機管理型水位計について

詳細は別添参照

### 3. 水位表示について

URL：<https://k.river.go.jp/>

QRコード：

### 問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所  
電話 086-223-5101（代表）（平日昼間）  
086-223-5196（夜間直通）

おおが よしかず  
総括保全対策官 大賀 祥一（内線308）

えんどう けんじ  
防災情報課長 遠藤 健二（内線281）

# 危機管理型水位計の設置のお知らせ

問い合わせ先  
国土交通省 中国地方整備局  
岡山河川事務所 防災情報課  
電話 086-223-5101

## 危機管理型水位計

- ・岡山河川事務所では、洪水時に円滑な避難行動や水防活動を支援するため、危機管理型水位計を高梁川水系小田川に5箇所設置しました。
- ・危機管理型水位計は、記載のURLにより、PCやスマートフォン等で確認することができます。この水位計は**河川堤防天端(堤防の最上面)からの水位を測定**するもので、**水位が上昇し、観測開始水位に達すると10分間隔で水位データを更新**します。
- ・危機管理型水位計の水位情報を活用して頂き、避難に役立てて下さい。

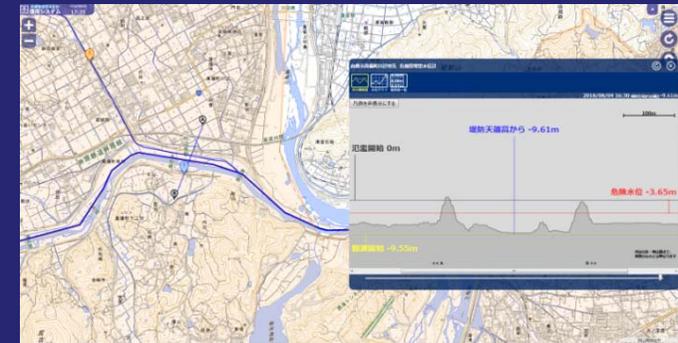
※現地の水位が観測開始水位より低い場合に水位は表示されません

## 小田川設置箇所



※河川を上流から下流に向かって眺めたとき、右側を右岸、左側を左岸と呼びます  
小田川は概ね西から東へ向かって流れていますので、南側が右岸、北側が左岸となります

## パソコン表示



URL: <https://k.river.go.jp/>

## スマートフォン表示 QRコード



氾濫開始水位：堤防の高さを越えて氾濫が始まる水位

危険水位：氾濫の危険性が高まる水位

観測開始水位：水位計で観測を開始する水位

## 【操作方法】

- ①観測水位を見たい箇所の マークをクリックすると水位グラフが表示されます
- ② をクリックすることで観測箇所の該当する情報を見ることができます
- ③詳しい操作方は マークをクリックした中にあるマニュアルを参照して下さい

# 危機管理型水位計について

## ■円滑な避難行動や水防活動を支援するため、危機管理型水位計を設置

### 危機管理型水位計について

**【目的】**

洪水時のみの水位観測に特化した低コストな水位計を開発し、都道府県や市町村が管理する中小河川等への普及を促進し、水位観測網の充実を図る。

**【特徴】**

- 長期間メンテナンスフリー（無給電で5年以上稼働）
- 省スペース(小型化)（橋梁等へ容易に設置が可能）
- 初期コストの低減  
（洪水時のみの水位観測により、機器の小型化や電池及び通信機器等の技術開発によるコスト低減）  
（機器本体費用は、100万円／台以下）
- 維持コストの低減  
（洪水時のみに特化した水位観測によりデータ量を低減し、IoT技術と併せ通信コストを縮減）

### 洪水時に特化した低コストな水位計

